

事務事業名		細浦地区内水排水対策事業		☒ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業																					
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																					
	施策名	20 良好な生活空間の創造		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 R1 年度～)																					
	基本事業名	01 生活道路の整備		☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 元 年度 ～ 2 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																					
根拠法令				予算科目																					
所属	部課名	都市整備部建設課		会計 款 項 目 事業 01 08 02 03 83																					
	課長名	金野 尚一		事務事業区分																					
	係 名	土木係	電話 0192-27-3111	A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																					
	担当者	新沼 大輔	内線 319																						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
細浦地区においては、東日本大震災により地盤沈下が生じたことにより、高潮時や大雨時における道路の冠水や、水路の滞留等が恒常的に見られる。大雨等の際は水路部分で溢れ出し、水路周辺の土地の円滑な利活用を阻害している状況にある。 本事業では、道路工、水路改修(嵩上げ)を行い、細浦地区の衛生環境を確保し、防集移転地の有効活用を図るとともに、高台移転した人々の生業の場を確保しようとするものである。 なお、民有地の嵩上げについては、復興交付金は投入せず、地権者の負担により実施する。				総投入量 (千円) <table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>79,900</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>19,989</td></tr> <tr><td>事業費計 (A)</td><td>99,889</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td>4</td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>920</td></tr> <tr><td>人件費計 (B)</td><td>3,680</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>103,569</td></tr> </table>		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他	79,900	一般財源	19,989	事業費計 (A)	99,889	正規職員従事人数	4	延べ業務時間	920	人件費計 (B)	3,680	トータルコスト(A)+(B)	103,569
国庫支出金																									
都道府県支出金																									
地方債																									
その他	79,900																								
一般財源	19,989																								
事業費計 (A)	99,889																								
正規職員従事人数	4																								
延べ業務時間	920																								
人件費計 (B)	3,680																								
トータルコスト(A)+(B)	103,569																								
【計画期間】																									
・測量調査設計(1式) 令和元年度～令和2年度 ・用地補償 令和2年度 ・工事施工(道路L=95m、水路L=110m) 令和2年度																									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 測量調査面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>イ 施工延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 測量調査面積	m ²	イ 施工延長	m	ウ	
名称	単位										
ア 測量調査面積	m ²										
イ 施工延長	m										
ウ											
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
測量調査設計											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)											
測量調査設計											
工事施工(道路L=95m、水路L=110m)											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
内田線、内田細浦線		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 計画総延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>キ 周辺地区住民数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	カ 計画総延長	m	キ 周辺地区住民数	人	ク	
名称	単位										
カ 計画総延長	m										
キ 周辺地区住民数	人										
ク											
水路											
周辺地区住民											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
市道及び水路が整備される。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 整備される道水路延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>シ 冠水による被害を抑制できる区域</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	サ 整備される道水路延長	m	シ 冠水による被害を抑制できる区域	m ²	ス	
名称	単位										
サ 整備される道水路延長	m										
シ 冠水による被害を抑制できる区域	m ²										
ス											
周辺地区住民により安全に利用してもらう。											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
安全に移動及び活動できる。											

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円					0	79,900
		一般財源	千 円					0	19,989
	事業費計 (A)		千 円	0	0	0	0	0	99,889
	人件費	正規職員従事人数	人					2	2
		延べ業務時間	時 間					368	552
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	1,472	2,208
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	0	0	1,472	102,097
⑤活動指標	ア	m ²						700	700
	イ	m						110	110
	ウ								
⑥対象指標	カ	m						110	110
	キ	人						60	60
	ク								
⑦成果指標	サ	m						110	110
	シ	m ²						700	700
	ス								

事務事業ID	1812	事務事業名	細浦地区内水排水対策事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

地盤沈下による浸水対策として令和元年度より事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

地域の理解が進み、協力的になった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地域から早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 整備により、安全・安心に利用できるので都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 公共施設の整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 被災に起因した整備であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 十分な幅員での計画延長となっており、これ以上の成果向上が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 浸水により、安全で安心に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の「費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で来住していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公共物であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- 現状維持
- 改革改善(縮小・統合含む)
- 終了・廃止・休止

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

令和2年度に事業完了予定。

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持
- 改革改善(縮小・統合含む)
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

令和2年度に事業が完了する予定である。